

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	2 観光・交流の場としての充実促進	② 施策番号	3434
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	1 大地と海からの恵みとしておいしく安全な食料を供給し続けるとともに、魅力的な農業と漁業のあるまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 漁業の振興		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
市民生活環境部	産業観光課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

① 施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	漁港、漁業関係者、漁業協同組合などの関係団体、観光関係団体、市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	立地を活かして漁業体験・産地市場のような観光漁業なども行う生産性の高い漁業である都市型漁業を推進し、魚食（ぎょしょく）文化の普及を図り、漁港を観光・交流の場としても充実させる。
③ 環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	大阪湾の漁業生産力を有効に活用した生産性の高い、また立地を活かした漁業体験・産地市場のような観光漁業である都市型漁業を育成するため、生産基盤の整備や資源管理型漁業が積極的に推進されている。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方
①	樽井漁港釣堀年間利用者数	人	樽井漁港にある釣り堀の利用者数により、漁港の観光・交流の場としての進展が一定わかるため。
	計算式		
②	岡田浦漁業協同組合地引網利用者数	人	岡田浦漁業協同組合による地引網利用者数により、漁港の観光・交流の場としての進展が一定わかるため。
	計算式		
③			
	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R元実績	R2見込	R3目標	備考
①	樽井漁港釣堀年間利用者数	人	目標値				15,000	16,000	
			実績値	9,583	10,612	13,461	—	—	
			達成率						
②	岡田浦漁業協同組合地引網利用者数	人	目標値				6,303	8,000	
			実績値	8,500	5,135	6,303	—	—	
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R元実績	R2見込	H30実績	R元実績	R2見込	総合評価	今後の方針	
1	漁港維持管理事業	樽井漁港年間利用者数	人	10,612	13,461	15,000	2,142	2,472	2,550	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						2,142	2,472	2,550			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	立地を活かして漁業体験・産地市場のような観光漁業なども行う生産性の高い漁業である都市型漁業を推進し、魚食(ぎょしょく)文化の普及を図り、漁港を観光・交流の場としても充実させることは、漁港のにぎわいにつながり、上位施策である漁業の振興に貢献する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	樽井漁港内の釣堀の利用者は増加傾向であり、漁港の観光・交流の場としての進展が一定読み取れる。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	漁業関係者、漁業協同組合などの関係団体、観光関係団体と連携しながら、役割分担を行っており適切である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	事務事業の内容は施策に適応しており、適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	漁港を観光・交流の場として充実させていくためには、これらの事務事業は重点化すべきと考える。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	C	漁業関係者、漁業協同組合などの関係団体、観光関係団体、市民団体とより連携し、漁港を観光・交流の場として捉え、魚食文化の普及を図る。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	りんくう公園での市内外の来園者に対し、りんくう公園運営者、両漁業協同組合、観光関係団体、市民団体などが連携し、漁業体験事業を確立する仕組みづくりを支援することで、漁港を観光・交流の場としての機能も持たせるように進める。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	—
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	—

6. 二次評価(行革・財産活活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	C	観光・交流の場の提供を通じて取組が適切に行われている。 関係団体との連携強化を進め、観光・交流の場としての充実促進に向けた取組、情報発信を継続して進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある